

新しい年 心をひとつに 新春村民のつどい 小学生の歌のステージ



書家・陽華さんの書道パフォーマンス作品

【特集】

新春村民のつどいー

新春村民のつどい

1月21日、交流センター「ふれ愛館」にて、「新春村民のつどい」が開かれました。昨年までは、福島市内で「村民ふれあい集会」として開催されてきた催しです。いよいよ村内で、復活しました。



10大ニュースの司会を担当する村職員が晴れ着でお出迎え。「新春村民のつどい」初参加のイタネちゃんは、楽しくて、頭上の花が満開に。

オープニングステージ 福島大学の発表



一緒にやってみたいこと、お手伝いできることがあれば、ぜひお声がけを。これからお仲間としてください！

福島大学からは、約40人の学生さんが、駆けつけてくれました。オープニングのステージに立ち、これまでの村とのつながりや、村内で行っている活動、今後の構想などについて、紹介しました。さらに、高橋トク子さん（深谷）特製のカボチャまんじゅうや、五目おこわのおにぎりを用意して、甘酒と一緒に振る舞ってくれました。



そして
10大ニュースの
発表ダーッ！

注：10大ニュースの司会中に
無茶ぶりされたモノマネを
全力でやっている写真です

いいたて四季彩景 ● 雪の明日



真っ白な雪面に大小の光の粒がきらきら。引き締まった冬の冷気が心地よい朝でした

CONTENTS 目次

- 3 特集1 新春村民のつどい
- 6 特集2 平成29年 村の10大ニュース
- 8 復興を歩む 深谷団地の安全祈願祭
- 10 報告のページ 県建築文化賞受賞 ほか
- 12 特集3 平成30年飯館村成人式
- 16 いいたて便り
- 18 つながるアルバム
- 20 お知らせ
- 21 入札結果
- 22 ひとかたる ものがたり / 堀先生相談室
- 23 こころのぼけっと / ひとのうき
- 24 ホープス / 編集後記

「新春村民のつどい」のステージで、小学生が澄んだ歌声を披露しました。アップテンポの曲では自然に手拍子が広がって、会場が一つになりました。



●表紙のおはなし●

住民票は
ないけど
“村民意識”
あります！

さとう宗幸さんのスペシャルコンサート



いつもあたたかく
村に寄り添って
くださいます



情感にあふれる美しい歌声。心に染みてきます。
なんてぜいたくなひととき…

大抽選会の
一等賞は
5万円分の旅行券！
素晴らしいですね。
素敵な1年に
なりますように！



がんばって
やってみます！



までい大使でラジオ福
島アナウンサーの宮原
美智子さん。心あた
る名司会をありがと
うございます。

新春の
お楽しみ
大抽選会！



お開きを前に、
「飯館お母さん
コーラス」と会場
の全員で、「ふる
さと4番」を歌い
ました。



お集まりくださった皆さん
ありがとうございました。
来年の開催もどうぞ楽しみに！

今年もたくさんのご支援をいただきました。
楽しい時間をありがとうございました。



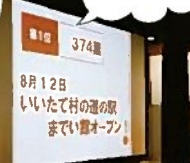
親子広場

村のPRにもが
んばります。じゃ
がいの応援も
よろしくお願いします！



NPO法人日本動物介護セン
ターの山口常理事長(左)

詳しくは
P6で！



成年にちなんで、昨年わ
んだフルまでい大使に就
任した災害救助犬・じゃ
がいが、ゲスト出演！

夢の
ようです

10大ニュースの表彰



半谷五月さん(伊勢沢)
が金賞を獲得！賞品は旅
行券5万円分です。

震災の年、松川仮設で
のイベントが、私の初
めてのパフォーマンス
でした。今日は飯館村
への感謝をこめて書か
せていただきます。

書家の陽華さんによる
書道パフォーマンス

冒頭の4行の頭文字を
つなげると…なんと
「い・い・た・で」
になっているんです。

てたいい



松川第一仮設で平成23年に開催された
「絆つなげるまでいな一日」が原点と語
る陽華さん。「今年は飯館村から始めた
い」と年始の仕事を調整していたそう。

草野・飯館・白石小学校の児童が「ま
でいのロンド」と「カントリーロード」
を歌いました。その爽やかな歌
声に、涙を浮かべて聴き入る人も。



「飯館お母さんコーラス」は「このみ
ち」と村民歌を披露。ホールに登った歌
声が届きました。村民歌は、歌手のさ
とう宗幸さん(列の左奥)との共演です。

5

197 票

8/11

イイタネちゃんの誕生！子どもたちの提案で生まれた村の公式キャラクター。村のPR活動に活躍しています。



6

181 票

11/1

村オリジナルデザイン年賀状の販売がスタート。発売日には、福島中央郵便局で販売セレモニーが行われました。



7

170 票

10/27

村内で再開する学校への通学希望者が90人に。就学意向調査の結果と、コシノヒロコさんデザインの新制服が発表されました。



8

162 票

5/8

改修後、入浴施設のみを先行で再開していた宿泊体験館「きこり」の宿泊営業が、いよいよ再開されました。



9

157 票

9/24

飯館村議会の議会議員選挙の投開票が行われました。12人の立候補者の中から、新人5人を含む10人が当選を決めました。



10

148 票

1/15

「いいたて村民ふれあい集会」が「バルセロナ」で開催され、ものまねタレントのコロケさんのショーを、泣き笑いで楽しみました。



平成29年

飯館村民が選んだ

村の10大ニュース！

村で起こった1年間のできごとを、村民の投票でランキングする「村の10大ニュース」。今年で30回目を迎えた恒例のイベントに、今年もたくさんの投票をいただきました。それでは、発表します。平成29年の10大ニュースのラインアップは…

1

374 票

8/12



「いいたて村の道の駅までい館」がグランドオープン！開業後も多彩なイベントが続き、オープン2週間で来場者5万人を達成しました。

2

324 票

3/31



飯館村の避難指示が解除され（帰還困難区域となっている長泥地区を除く）、交流センター「ふれ愛館」で「おかえりなさい式典」を開催。

3

238 票

11/17



村内伊丹沢地区に、葬儀所「メモリアルホールいいたて」が完成しました。葬儀のほか、法要などにも利用することができます。

4

206 票

4/5

平成26年2月、大雪で立ち往生した車列に仮設住民がおにぎりを配ったエピソード「命のおにぎり」が道徳の教科書へ掲載されることに。



復興を歩む vol.34 深谷団地の安全祈願祭

深谷地区復興拠点に整備する復興公営住宅「深谷団地」の建設工事が始まるのに伴い、1月24日、現地で安全祈願祭が行われました。

この「深谷団地」には、村民はもとより、新たに村に移住し村内で働く人なども入居できます。竣工は今年の9月、入居開始は11月頃の見込みで、入居募集は事前に行い、余裕をもって入居者を決定する予定です。また、団地に隣接して深谷地区の集会所も整備され、入居者と地区の住民の交流の場としても活用されます。

「深谷団地」以外の既存の村営住宅でも再整備が進んでいます。草野地区の大谷地住宅では、16戸が建て替えられ、集会所も今年6月に完成する予定です。修繕した白石・深谷伊丹沢の村営住宅も含め、入居状況は満室で、現在空室があるのは笠石住宅のみとなっています。なお、桶地内団地は、平成30年度に建て替え工事を行う予定です。また、避難指示解除後の村への転入

者は増加の傾向にあり、1月1日現在で、22世帯36人となっています。

村は、村に移住する人、通勤する人、訪問・交流する人などの増加も、復興に欠かせない大事な要素と考えています。次年度から「移住・定住・交流」専任の職員配置を検討していて、移住に関する補助も充実していく予定です。

宅地分譲や住宅の新築には、補助や税制面での優遇を検討しています。分譲する宅地については、震災前の事業を引き継ぐ形で、長期間の移住を条件に無償譲渡することも検討しています。また、中古物件の購入やリフォームへの補助、雇用の場の紹介、引っ越し費用の補助、子育て支援事業など、さまざまなバックアップも検討中。議会の審議や承認を経て、事業の計画が決定すれば、随時公表していきます。

「深谷団地」に象徴される「ネットワーク型の村づくり」は、今後の村の発展につながる大切なテーマの一つ。移住者の多くから「村の人はやさしい」「人のつながりがあたたかい」という声が聞かれますが、村民のまじりな生き方暮らしぶりも、人を呼び込む大きな魅力です。より力強いネットワークを築いていけるよう、人と人とのつながりを大切に、村全体で力を合わせていきます。

安全祈願祭であいさつする村長。地権者や地域住民、事業を支援する国・県、関係者らに改めて感謝を述べました。「深谷団地」には、15戸の住宅と集会所が整備されます。場所は「いいたて村の道の駅までい館」の裏手で、「深谷団地」と道の駅の間には、公園も整備される予定。15戸の内訳は、一戸建てが9棟9戸、長屋住宅が3棟6戸で、住宅ごとの多様なデザインが楽しい家並みをつくり出します。また、団地の住民同士のコミュニティスペースとしてトレーラーハウスを置くというユニークな試みも。住宅の間取りも、高齢者の単身世帯、共働き家族世帯など、さまざまなニーズに合わせてデザインされています。





平成13年度
奨励賞 いいたてホーム



平成17年度
特別賞3門賞 笠石団地



平成18年度
奨励賞 飯樋小学校

福島県建築文化賞 復興賞を受賞



災害公営住宅飯野町団地

村としては
4度目の受賞

村の災害公営住宅「飯野町団地」が、平成29年度（第34回）福島県建築文化賞・復興賞を受賞しました。授賞式は、1月22日、杉妻会館（福島市）で行われ、村を代表して菅野村長が、表彰状や副賞の盾などを受け取りました。

今年には県内の自治体・企業・民間団体などから62点の応募があり、11点が受賞しました。審査委員長で東洋大学名誉教授の長澤昭さんが講評を述べ、飯野町団地については「広場を囲む住宅の配置が交流を生む。水造の集会施設は子どもの居場所として居心地がよい」と評価しました。村としては4回目の受賞（左を参照）となります。復興の励みとなる快挙です。

いいたてっ子、信州へ ～ 10回目の招待事業 ～



▲初日には、地元中学生318人による歓迎！

▲白と黒のコントラストが美しい松本城を散策

12月26日から28日まで、村の子どもたちが、長野県松本市からの招待を受け、2泊3日の日程で「信州まつもと子どもキャンプ」に参加しました。松本市からの招待は、震災後の平成23年度から今回で10回目となります。初日から余て参加している子どももいる交流事業で、これまでに338人の子どもたちと保護者が参加しています。

今回の子どもキャンプでは、松本市教育委員会、ボランティアスタッフの皆さんのご協力をいただきました。参加した子どもたちは、バスでの長時間移動の疲れも見せずに、元気なあいさつと笑顔を見せながら、松本市の中学生、大学生らとホッケーゲームなどで交流を楽しみました。また、江戸時代の城下町の風景を再現した縄手通りの情緒溢れる町並みを散策しました。

お別れ会では、同市より4月に再開する村内学校へ大袋こいのぼりの置物を寄贈いただき、村のさらなる復興を願う言葉が寄せられました。



▲感謝が贈られた佐藤さん（左）と藤井さん（右）

あなたの人権を大切に

1月11日、長年、人権擁護委員としてご尽力いただいた佐藤敏子さん（平野）へ、法務大臣より感謝状が贈呈されました。佐藤さんは、2期6年、村行事などで人権の大切さについて啓蒙活動を行ってこられました。佐藤さんは「委員だからこそ、貴重な経験をすることができた。この経験を生かして生活していきたい」と活動を振り返りました。

また、新しい委員として藤井美奈子さん（上飯樋）が、1月11日付で委嘱されました。藤井さんは今後、研修や普及活動をしなが、委員として活動を行っていきます。

イタネちゃん

人気がでてきたネ、

昨年夏に誕生した村公式キャラクター「イタネちゃん」の人氣が広がっています。

今年のお正月には、全国からイタネちゃん宛に、年賀状が約200通届きました。「がんばってね」「道の駅に会いに行きます」など応援メッセージも寄せられています。

また、福島県出身のお笑いコンビたんぽぽ・白鳥久美子さんが歌う公式ソング「笑顔のタネ」が北海道、東京、広島の幼稚園の発表会などで使用されています。



大人への、一步 平成30年飯舘村成人式



▲毎年、素敵な歌声を届けているお母さんコーラスの皆さん

今年度の成人式は、村内大部分の避難指示が解除されてから初めての村内開催。中学1年生で震災を経験した新成人が、生まれ育った村で20歳の門出を迎えました。

式の終盤には、新成人が両親への感謝を伝え、いいたてお母さんコーラスがお祝いの歌を贈りました。

式当日の様子については、次ページで詳しくお伝えします。

いそいで迎える
成人の日



▲一人ひとりに成人証書が手渡されました

自分の人生を前向きに
1月7日、平成30年飯舘村成人式が交流センターふれ愛館で行われ、村の新成人が晴れの日に迎えました。式には、色鮮やかで華やかな振袖や真新しいスーツに身を包んだ新成人37人が参加。会場では、友人や恩師との再会を喜び合う姿があちこちで見られました。

式では、菅野村長が、新成人一人ひとりに成人証書を授与し、「震災を乗り越えてきた皆さんを誇りに思う。人生には自動ドアはありません。力いっぱい、前向きに自分の人生を切り開いて欲しい」と祝福と激励の言葉を贈りました。

大人への、一步 平成30年飯館村成人式



「久しぶり！」 7年ぶりに笑顔で再会

式の終了後には、記念パーティが開かれ、新成人、来賓、小中学校時代の恩師が集いました。パーティの中で、学校生活を振り返る映像が流れると、当時の思い出話に話が咲きました。



はたち 20歳の20冊 新しい一步を、新しい一冊と。

村では、新成人に読んでもらいたい本20冊を、「ほんの森いいたて」開店当初からつながりのあるJPICの協力のもとで選書し、希望の1冊をプレゼントしました。

いい本が、未来に進む道しるべになってくれますように。

嫌われる 勇氣

優菜さんが選んだ、1冊

嫌われる勇氣 自己啓発の源流
「アドラー」の教え

岸見一郎 古賀史健 / 著
ダイヤモンド社

選者：編集者 佐渡島 庸平さんコメント

幸せとは人から好かれることではない。自分らしく生きて、その上で人から好かれることである。嫌われる勇氣を持つことは、幸せの第一歩であり、それを身につけるきっかけとして、アドラー心理学を学ぶのは有効だ。



夢に向かって
勉強中!

佐藤 優菜さん(大久保・外内)
学校でも話題になっていたので選びました。記念の一冊を大切に歩んでいきます。

希望あふれる新たな道を歩みはじめた新成人。
ふるさと「飯館村」で迎えた祝いの1日をお伝えします。

ハタチの抱負!



菅野 大輝さん(比叡)



野中 茜衣梨さん(牟野)



細杉 利征さん(前田)



誓いの言葉

新成人代表 野中 茜衣梨(牟野)

私たちの門出をたくさんの方に祝っていただき、感謝しています。この日を迎えたのは、家族、友人、恩師、地域の皆さんのおかげです。私たちは自然豊かな村で人生の半分を過ごし、あの震災を経験しました。ふるさとを離れることは、言葉にできない悲しみ、苦しみを胸に抱えることです。私たちはそれぞれの道を、1日1日を歩んできました。そんな日々の中で、多くの方々に出会い、支えられました。これからは、私たちがその恩を返していきたいと思っています。

夢をかなえるコツ

式では、レッドブルエアレースに出場する室屋義秀選手などトップスポート選手にメンタルトレーニングを行う朝日大学・白石豊教授が記念講演を行いました。講演では、白石教授がトップ選手に必ず指導している「朝ご飯を食べる前に、今日1日何をやるのかをイメージすること」や習慣の大切さを説明。「仕事人としてのプロを日指して欲しい。多くの人、木と出合い、チャンスをつかみ、縁につなげて欲しい」とエールを送りました。



村消防団の出初め式 避難先で最後の開催



観閲を受ける団員。この春学校が村内で再開するため、仮設体育館での出初め式は今年が最後です

1月7日、飯館中学校仮設体育館で、飯館村消防団の出初め式が行われました。式には、消防団員・女性消防隊・役場消防隊、合わせて98人が参加。村民の安心・安全な暮らしを守るべく、本年の消防活動に向けて、思いを一つにしました。団員らは、引き締まった表情で観閲に臨み、復興が進む村内の防火・防災に一層努めていくことを確認。あいさつに立った関係各位は、団員らの貢献に感謝を述べ、激励しました。優良消防団員の表彰と、永年勤続章の授与も、行われました。

風とロックキャラバンが ふれ愛館にやって来た！



トークショーのようす。音楽ライブには「音速ライン」やスネオヘアーさんが登場しました

県内59市町村をめぐる「風とロックキャラバン福島」が、1月13日、交流センター「ふれ愛館」で開催され、トークショーと音楽ライブを、多くの来場者が楽しめました。トークショーには村商工会青年部の大内亮さん（八木沢・芦原）・森健一さん（上飯館）・大井利裕さん（草野）、畜産業の山田豊さん（関根・松塚）が登場。それぞれが村の魅力や未来への決意を語りました。インフルエンザで欠席となった主催者代表の笹内道彦さんは、電話での出演で会場を盛り上げました。

交流センターで初笑いを 「母心」の漫オライブ



テレビのお笑い番組「笑点」にも出演する実力派。次々とネタが飛び出し会場は笑いっぱなし

漫オコンビ「母心」は、結成10周年を記念して県内59市町村をめぐる「福島感謝お笑いライブツアー」を行っています。村では1月19日に、交流センター「ふれ愛館」で、村商工会青年部主催の漫オライブを行いました。集まった村民は、テンポよくキレのある掛け合い漫オに大笑い。村の近況や公式キャラクター「イタネちゃん」を題材にしたご当地漫才も飛び出して、会場をわかせました。終演後は、舞台を降りて、観客と触れ合うひとときも。気さくな一面も魅力の「母心」でした。

松下さんが趣味の海釣りで 巨大ヒラメを獲ったぞー！

松下一男さん（草野）が、相馬沖で、超ビッグなヒラメを釣り上げました。釣り上げたのは、昨秋11月12日の朝7時頃。松川浦の賀都屋（かどや）旅館「明神丸」の船上で海釣りをしていた時です。その全長105cm、重量約10kgという大きさは、昨年相馬港に水揚げされたヒラメの中で最大。趣味の海釣りを30年以上楽しんでいる松下さんでも、このサイズのヒラメは初めてでした。松下さんは、この巨大ヒラメを白らばいて刺し身にし、隣近所にも配って大勢で味わったということです。



1m超えのヒラメは滅多に上がらないそう。びっくりな大きさですね（写真提供／賀都屋旅館）

「人権」を学ぶ中学校へ 法務省から感謝状

法務省と全国人権擁護委員連合会が主催する人権作文コンテストへの協力に対する感謝状が、飯館中学校に届きました。中学校ではコンテストを好機ととらえ、「人権」をテーマに道徳の授業を行い、1学年と3学年の全生徒が作文を応募。3年生の大谷結美さんが「いじめ」をテーマに書いた作文は、県の奨励賞に輝きました。12月13日、福島地方法務局相馬支局の新田公夫支局長と村の人権擁護委員が中学校を訪れ、法務省からの感謝状と表彰状を授与しました。



人権擁護委員や指導教員も出席した授与式。左端2人目から、新田支局長、大谷さん、和田校長

村も元気に物産をPRしました ふくしま大交流フェスタ

12月23日、福島県の物産やご当地グルメなどを紹介する「ふくしま大交流フェスタ2017」が、東京国際フォーラム（東京都千代田区）で開かれ、村もブースを構えて、村内産米や、特産品などを販売しました。この催しは県の主催で、今年で11回目。村のブースにも、多くの来場者が立ち寄り、試飲や試食を楽しんだり、気に入った商品を購入したりしていました。かつて応援職員として村に勤務していた方など、ゆかりの方々も訪れて、村のブースを盛り上げてくださいました。



どぶろく・甘酒の試飲は大人気。多くの人が次々と足を止め、村の特産品ブースを楽しみました



はっぴに手ぬぐい姿で餅つきを楽しみました



食べる餅は入居者が食べやすい工夫して調理

特別養護老人ホーム「いいたてホーム」で、12月28日、餅つきが行われました。ホール中央に置かれた臼を囲んで、「よいしよ、よいしよ」と掛け声も。入居者も杵を握ったり、懐かしき臼を細めたりして、餅つきを楽しんでいました。食べる餅は、ご飯で作ったやわらかな餅で準備。職員が、きなこ餅やじゃうねん餅、あんこ餅や納豆餅に仕上げ、食膳を彩りました。

いいたてホーム

12/28

パークゴルフ協会の皆さんが、相馬市岩子(いわのこ)の松川浦パークゴルフ場で二年を締めくくる月例会を開きました。この日は、昨年一年間を通して15回開いた月例会の入賞者による「チャンピオン大会」と、入賞を逃した皆さんによる「未入賞者大会」を同時開催。それぞれに和気あいあいとプレーを楽しみ、大会終了後は全員で食事を囲んで、親交を深めました。

飯舘村
パークゴルフ
協会

12/15



女性もたくさん参加しています。入賞者の皆さん



小春日和の青空の下、参加者38人の笑顔も晴れ晴れ



多彩な曲を演奏。会場が演奏に合わせて歌う場面も

しあわせカフェ
永井川

1/16



コーラス隊がパンフルートに合わせて美声を披露

毎月楽しい催しで交流を深めている「しあわせカフェ永井川」の皆さん。1月はハモニカとパンフルートのコンサートを楽しみました。演奏したのは、趣味で演奏に取り組んでいる佐藤茂さん(深谷)。多種多様なハモニカを使い分け、幅広いジャンルの曲を演奏しました。参加者も歌を口ずさんだり、即席のコーラス隊で共演したりして、アットホームなコンサートを楽しんでいました。

飯野町団地

12/25



集会所前の広場で。つきたての餅を味わいながら



射水市から兄弟で参加の中高校生も

富山県から訪れた浄土真宗本願寺派高岡教区の皆さんと、飯野町団地の入居者が、餅つき会で交流しました。同教区が村民と行う餅つき会は、震災後7年続く支援で、飯野町団地で行われたのは初めて。僧侶や門徒、もち米の生産者や、高校時代から毎年参加している女性など、はるばる富山から来てくださった皆さんと、つきたての餅を味わい、交流を深めました。

富山の方のひざの上でここにこ ☺

入札結果をお知らせします

入札日／8月24日(単位：円)

工事(業務)の番号・名称	契約額(税込)	請負業者	完成予定
あいの浜管理棟修繕工事監理業務	540,000円	(一財)ふくしま市町村支援機構	平成30年1月下旬
民家園ふるさと修繕工事監理業務	1,771,200円	(一財)ふくしま市町村支援機構	平成30年1月下旬
あいの浜橋修繕工事監理業務	1,296,000円	(一財)ふくしま市町村支援機構	平成30年1月下旬
帰還再生生活道路整備工事	10,638,000円	(有)渡辺工業	平成29年12月中旬

入札日／9月21日(単位：円)

道の駅「まいで館」太陽光設備設置工事(電気)	59,400,000円	佐々木電気工事	平成30年3月下旬
道の駅「まいで館」太陽光設備設置工事(建築)	20,196,000円	庄司建設工業㈱	平成30年3月下旬
深谷拠点村営住宅・集会所建設工事	513,000,000円	関場建設㈱	平成30年3月下旬
深谷拠点村営住宅・集会所建設工事監理業務	13,813,200円	神田建築事務所	平成30年3月下旬
無線システム普及支援事業(携帯電話等エリア整備事業) 飯館村移動通信用鉄塔施設NTTドコモ用通信設備設計監理業務	2,548,800円	日本コムシス㈱	平成30年3月下旬
無線システム普及支援事業(携帯電話等エリア整備事業) 飯館村移動通信用鉄塔施設KDDI用通信設備設計監理業務	2,754,000円	東北ボーリング設備局営業所	平成30年3月下旬
交通安全施設設置工事	972,000円	飯館建設	平成29年11月中旬
被災地域農業復興総合支援事業基幹事業 花巻栽培施設外周排水路工事(深谷役所管内第2号工)	7,992,000円	濱田建設工業㈱	平成29年12月下旬
森林病害虫(カシノナガキイムシ)防除業務	5,832,000円	飯館村森林組合	平成30年3月下旬
民家園ふるさと浄化槽設置等工事(村単分)	2,484,000円	神英工務店	平成30年1月下旬
あいの浜管理棟外部塗装等工事(村単分)	2,052,000円	神英工務店	平成30年1月下旬
宿泊体験館さくら研修棟外壁塗装等工事(村単分)	4,536,000円	飯館村工務店 川俣支店	平成29年12月中旬
白石第2住宅修繕工事実施設計業務	4,590,000円	神田建築事務所	平成30年1月下旬
飯館村簡易水道事業 検測量水器交換業務	1,630,800円	飯館村管工事組合	平成29年12月下旬
第17号(井戸)掘削(ボーリング)工事(飲料水安全確保支援事業)	3,672,000円	庄建設㈱	平成30年1月上旬
河川等土砂撤去業務	14,688,000円	飯館建設	平成29年12月下旬
農業基盤整備促進事業(飯館西部その2) 貯排水等整備工事	10,260,000円	濱田建設工業㈱	平成30年3月下旬
草野小学校前教員住宅改修工事	6,048,000円	神英工務店	平成29年12月下旬
スクールバスターミナル休憩所改修工事	9,288,000円	神英工務店	平成30年1月下旬
学校施設防犯警備装置設置工事	1,499,904円	セコム㈱	平成30年3月下旬
スクールバス(マイクロバス)購入	10,098,000円	三菱ふそうトラック・バス㈱ 東北ふそう福島支店	平成30年2月下旬

入札日10月18日(単位：円)

大久保・外内集会所改修工事	7,916,400円	神英工務店	平成30年3月下旬
旧飯館住宅修繕工事	9,309,600円	神英工務店	平成29年11月下旬
公営計財事務類作成支援業務	12,960,000円	飯館島県中央計算センター	平成30年3月下旬
帰還困難区域復興計画策定業務	4,968,000円	神佐川建築研究所	平成30年3月下旬
飯館村光ケーブル不良設備点検業務	3,888,000円	東日本電信電話㈱福島支店	平成30年3月下旬
地上デジタル放送再送信事業実施設計業務	2,419,200円	㈱T T K	平成29年12月下旬
メモリアルホールいいたて指定管理業務	2,700,000円	ふくしま未来農業協同組合 飯館総合支店	平成30年3月下旬
メモリアルホールいいたて案内施設設置工事	540,000円	旭産業㈱	平成29年11月中旬



水道事業運営審議会・農業集落排水事業運営審議会を設置

水道料金、農業集落排水処理施設使用料の設定、徴収再開時期について検討を諮問

この度、村は震災後から一部を除き徴収を減免している水道料金、農業集落排水処理施設使用料(下水道料金)の設定および徴収再開の時期について検討を行う「飯館村水道事業運営審議会」「飯館村農業集落排水事業運営審議会」(ともに大越浩一会長)を設置しました。

水道給水区域および農業集落排水処理区域は避難指示が解除されたものの、利用者の減少、使用水量の減少により、厳しい事業運営が見込まれています。

このため、水道料金および農業集落排水処理施設使用料(下水道料金)の設定のあり方、料金徴収の再開時期について、この審議会で検討し平成30年度中に村に答申を行う予定となっています。



▲菅野村長から諮問書を受け取る大越会長(右)

1月の村の動きと主なできごと

- 4日・村役場 仕事始めの式(交流センター「ふれ愛館」)
- 5日・仮設住宅・公営住宅管理入会式(飯館支所)
- 7日・平成30年飯館村成人式(交流センター「ふれ愛館」)
- 村消防団 出初式(飯館中学校仮設体育館)
- 前田行政区域調整協議会(福島市・楢葉市・大島町)
- 10日・新春村民のつどい実行委員会(村役場本庁)
- 11日・人権擁護委員感謝状贈呈及び委嘱状交付(村役場本庁)
- 12日・行政区域・副市長会議(福島市・グリーンパレス)
- 第1回水道事業・農業集落排水事業運営審議会(福島市・グリーンパレス)
- 17日・土地改良区理事会(多びす座)
- 21日・新春村民のつどい(交流センター「ふれ愛館」)
- 22日・第34回福島県農業文化遺産授賞式(福島市・杉妻会館)
- 23日・第1回農業委員会定例会(村役場本庁議場)
- 農業オペレーター協議会設立総会(「J A とうま飯館総合支店」)
- 第8回学校運営協議会(飯館中学校)
- 24日・深谷用地 安全祈願祭(深谷復興拠点現地)
- 和農飯館校の再建を考える会(村役場本庁議場)
- 定例教育委員会(福島市・チェンバ大町)
- 25日・第1回議会臨時会(村役場本庁議場)
- 26日・村職員 福島第一原子力発電所視察(大熊町・双葉町・福島第1原子力発電所)
- 平成29年度 農業者等との意見交換会(伊達市・つきたて花工房)
- 28日・文化財防火デー 消防訓練(綿津見神社)
- 29日・村議会 産業厚生常任委員会所管事務調査(村内)
- 30日・村議会 産業厚生常任委員会所管事務調査(村内)
- 31日・第5回認定こども園教職員採用並びに運営等検討委員会(いいたてホール)
- 村議会 総務文教常任委員会所管事務調査(村内)
- 村土地改良区監事会及び中間監査(村役場本庁)

●ひとかたるものがたり● 第11回

高野 澄子さん（前田・八和木）



藤華新流新舞踊の家元で「澄美れ会」の代表。今年は家元となり35周年の記念の年。建て替えた村の自宅でも間もなくお稽古を再開します。

毎週金曜日は村内の集会所で、他の曜日は、川俣町内の2か所と、福島市飯野町で、お稽古を続けてきました。

昨年、村の自宅を平屋に建て替えて、踊り場を作りました。今はいろいろな人に手伝ってもらいながら、機材を運び、お稽古再開の準備を進めています。

その新しい踊り場は、踊りた人はもちろん、踊りが別に好きでない人でも、お茶飲み話をしに来れる場所にしたと思っています。

避難して、元の家を壊してしまつてからは、村に來ると近所の

友達の家へ寄っていました。今度は私が、誰でも寄れる所を作りたい。漬物とか家にあるものを持ち寄り、お金のからないうり方だと思っています。始めの時には、何かいい名前でもつけたいですね。

避難する時は、在宅で介護をしていた夫と一緒。受け入れてくれる病院を見つけるのに苦労しました。そして私は中ノ沢温泉へと2次避難。その後、ストレスが重なり発病しました。胃の切除手術を受けましたが、1年半の入院期間も、踊りの仲間を支えられました。夫は避難先の病

院で亡くなってしまいました。「澄美れ会」では、慰問活動が続いています。呼んでいただけることは、ありがたいこと。特に9月は、毎年あちこちの敬老会へ出掛けます。おにぎり持参でね。ところが「昨年の9月は、心臓に異常が見つかりました。病院の先生に言ったんです。『今死ぬ訳にはいかないんです。村に家を作るんです。一緒に踊るのを待っている人がいるんです。敬老会があるんです。』」と。すぐに手術が決まりました。手術の前の晩まで、お稽古をして。それでも運がよかつたんですね。助けていただきました。翌日から、リハビリを開始。医師の了解のもと、10月の末にはステージにも立つことができました。「これで村に戻つて、皆とお稽古できる」とうれしかった。「踊りたい」と言ってくれる人がいたから、生きた。皆が待っていてくれたから、生きられたんです。

今年35周年の節目の年。毎年チャリティコンサートを開いてきた川俣町中央公民館で、7月8日に記念のコンサートを開き、皆さんに感謝を伝えたいと思っています。

おしえてくんちえ！堀先生

心も自分も大切に。

村民の皆さんからの相談に、堀先生がお答えします

相談 何かあると、後ろ向きに考えてしまいがちです。気持ちの切り替えにより方法がありますか

堀先生 人には、前に進みたい気持ちと、どうしても過去にとらわれてしまう気持ちの両方があります。感謝や喜びばかりではなく、怒りや悲しみ、嫉妬などにとらわれることもあるのです。どうしても後ろ向きの感情や考えを離れられない時にも、そういう自分を「ダメだ」と責めないことが大切です。たとえ、時間と場所を決めて、信頼できる人にそういう気持ちについて聞いてもらうことで、気持ちが楽になることがあります。だからと続けず、後ろ向きになる場を区切るのがポイントです。他の対策としては、全く関係のない別の活動に没頭するのも、良い方法です。



精神科医 堀 有伸 先生
（ほり 有伸先生）
ほりメンタルクリニック院長

「心の健康相談」お問い合わせは 健康福祉課健康係（いちばん館内） ☎0244-42-1638まで

こころのぽけっと

逆境に 強き花

東日本大震災では、大津波が押し寄せ、一瞬の内に多くの方の尊い命を奪い去ってしまいました。たとえ、本人に命があったとしても大切な家族や友人を失った方も多かったはず。福島県は、津波による原発事故により長年住み慣れた土地を追われるという苦しみ味わわれてきました。さらに震災関連死というのもありました。ところで、命という字体ですが「人は1回叩かれる」と書くと言われています。つまり、叩かれるとは人生の試験です。その試験を乗り越えることにより、たくましさが増えられていく。命という字はそんな意味をもっているというのを聞いたことがあります。

植物だって、春や夏にきれいな花が咲くのは、秋から冬の寒さの厳しい時に、しっかりと土の中で根を伸ばしているからでありましょう。人間でも同じで、人生の厳しい状態を味わうことによって鍛えられ、人に優しさをもって接したり、逆境に強い人になったりすることも言えるはず。

この避難生活の中、苦しいこと心配なこと、たくさんありましたが、考え方を少し変えれば、この災害も「意味あり」に出来そうです。

これから先の人生を大切にしなければなりません。嬉しいことや楽しいこと、いっぱいあるはず。心の根をしっかりと伸ばして、人生の大きな花を咲かせてもらいたいものです。

夜になつても、太陽が無くなったわけではありません。必ず、陽はまた昇ってくるはずですから。

平成30年1月23日 飯館村長 菅野 典雄

おくやみ

氏名	年齢	行政区
川田 八二	73	伊丹沢
佐藤 七郎	77	草野
佐藤 勝利	76	長沼
佐藤 利江	65	飯館町
佐藤 ツルイ	86	伊丹沢
佐藤 ツルイ	86	比叡
佐藤 男二	87	上飯館
佐藤 貞八	85	上飯館
佐藤 八ツ子	84	伊丹沢

ご冥福をお祈り申し上げます

ひとのうごき

(平成29年12月31日現在)		11月1日～30日までの人口動態	
人口	今月(前月比)	転入	4人
男	2932人(-13)	転出	18人
女	2948人(-13)	出生	1人
合計	5880人(-26)	死亡	13人
世帯数	1805戸(-3)		(住民基本台帳人口)

誕生おめでとう

赤ちゃんの名前	親の氏名	行政区
鹿山 真彦・紗文	深谷	

すくすくと元気に育ってね

結婚おめでとう

氏名	出身地
長谷川 芳博	伊丹沢
富田 裕美	葛多方
佐藤 康弘	上飯館
渡邊 梨奈	福島市

いつまでもお幸せに

(12月15日から1月20日までに届け出のあったものを掲載) この間に結婚を希望しない方は、届け出のときに住民課へ申し出てください。

HOPES

ホープス セカンド
2nd

7年前の原発事故後、被災地の状況を案じた田中さんは自ら長泥地区に入りました。「嶋原区長とは、同志というか友達というか、それからずっと付き合っています」。

放射線の医学等の利用の研究に携わってきた田中さん。旧日本原子力研究所の副理事長や、日本原子力学会の会長も務めました。リタイアして1年3か月後の大震災では、住まいのある茨城県ひたちなか

移り住んだこの村を拠点に

田中 俊一さん (上飯樋)



福島市出身の工学博士。平成24年9月から29年9月まで原子力規制委員会の初代委員長を務め、退任後、村に住所を移しました。2月1日付で、飯館村復興アドバイザーの委嘱を受けていただきました。



原子力規制委員会の前委員長である田中さん(左から2人目)。交代に伴う更田豊志委員長(同3人目)の関係自治体への訪問に同行しました。初日、12月14日には村を訪れ、菅野村長らと会談しました。

市で被災。その中で原発事故で被災。3月末には、専門家の連名で「福島原発事故についての緊急提言」を発表。田中さんは、当初から、県や各市町村への協力を惜しみませんでした。

それから7年。移住後も早速、講演や助言の依頼が後を絶ちませんが、個人の相談にも応えていきたいと考えています。「それがやりたいくて、福島に戻って来たのです。村を拠点に出掛けて行きます」。

さらには「村の教育にも協力したい」と言います。「子ども達には、生きる力を教えた。知識じゃなくて、知恵をね」。新しい村づくりに、自身の知見とネットワークを生かしたいと考えているのです。「いつでも協力すると言っている友人・知人がいます。歴史や農学、学者の話もきくと面白いです。できれば子ども達と、実習などしてみたいですね。私なりにここで夢を実現したい。あわてず、じっくりとね」。

編集後記

●今年のお正月、イイタネちゃん宛にかわいいイラストや温かなメッセージの付いたたくさんの年賀状が届きました。送り主には、北海道、東京、熊本などにお住まいの方も。遠い町から応援する声が届くことは、本当にうれしいことです。今年も道の駅や村イベントにたくさん登場してくれる(はず)。イイタネちゃんを一緒に育てていきましょう。飯館村、イイタネちゃんを通して、今年もたくさん笑顔が生まれてくれることを願っているタネ(木幡)

●いいたてホームの軒先に、長いつららが並びました。子どもの頃、つらは特別な遊び道具だったなあ。空想をふくらませて、宝物のようにも扱いました。このつらら、あの頃の私が見たら、目を輝かせて「取ってもいいですか」って行つたんだろうなあ。雪の中にいるのも好きで、綿雪、粉雪、牡丹雪：飽きずに眺めたものでした。氷も雪も友達だったのに。朝カーテンを開けた途端に青ざめる大人になってしまいました。(尾)



飯館村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。